

「豊」かで「和」やかな豊和

# 村づくり通信

創刊号



豊和村づくり協議会

発行：2018年8月

<連絡先：事務局>

千葉県匝瑳市飯塚1037-1

TEL:090-8845-1318

メール:thubaki@chiba.email.ne.jp

<https://www.toyowa-village.org/>

## 豊かで和やかな地域をめざして

### 「豊和村づくり協議会」を結成しました。

飯塚の開畑地域にはソーラーシェアリング（営農型太陽光発電設備）が設置されています。ソーラーシェアリングとは、設備の下部を農地としてきちんと耕作することを条件に農業委員会の許可を受けて設置されるもので、農業と発電を一体的に行うものです。現在12設備が稼働し、さらに建設が進んでいます。

この設備から、開畑地域の耕作放棄地の解消や農業支援、地域の環境保全や活性化、子供たちへの支援を主な目的として「村づくり基金」が拠出されています。今年は約300万円ですが、設備が計画どおりに建設されれば数年後には500万円を超える見込みで、少なくとも20年間は続きます。今年の3月、この基金の活用を協議するために各地区の代表や地域のために活動している団体や個人等で結成されたのが「豊和村づくり協議会」です。

まだ活動を開始したばかりですが、豊和小学校へのパソコン用のモニターの寄贈や移住者や都会から「週末農業」に通っている人たちと地元の人たちとの交流・親睦を目的としたイベントへの支援、開畑に不法投棄されたゴミの処分等に資金援助をしてきました。

地域のみなさまの要望にも耳を傾けながら、豊かで和やかな豊和、元気で未来につながる豊和をめざして行きますので、みなさまのご要望やお声を是非お聞かせください。

\*協議会には誰でも参加できます。ご希望される方は事務局まで。

豊和村づくり協議会一同

#### 参加団体等と役員

飯塚・大寺・内山区長／飯塚開畑環境保全会／北総東部土地改良区飯塚分区／SOSA プロジェクト／豊和小学校／豊和小学校 PTA／青少年相談員／農業委員／豊葉会／市民エネルギーちば／匝瑳ソーラーシェアリング／Three little birds

代表

椿日出男（飯塚開畑環境保全会）

副代表

栖関実（北総東部土地改良区飯塚分区）

向後勝弘（飯塚区長）

高坂勝（SOSA プロジェクト）

会計監査

林一吉（内山区長）

事務局・会計

椿茂雄（匝瑳ソーラーシェアリング）

#### 規約＜抜粋＞

第1条 飯塚開畑地区に設置されたソーラーシェアリング発電設備から拠出される「地域基金」（以下、基金という）等の管理、運営のために豊和村づくり協議会を設置する。

2 基金は、飯塚開畑地区の農地の保全や農業支援、および豊和地区の環境保全と活性化、将来を担う子供たちの育成、地域のための活動への支援のために使う。

第2条 基金は前条の目的を踏まえ、以下のために使用することとし、具体的には協議会で協議して決める。

- ①飯塚開畑地区をはじめとする豊和地区の耕作放棄地の解消や農地と環境の保全
- ②地域の振興や活性化、環境保全、子供たちの育成等、地域のために活動している団体等への支援
- ③子供たちの育成に資する活動への支援
- ④新規営農や農村と都会との交流への支援
- ⑤その他、会の目的のために必要なこと

## ■豊和小学校にパソコン用 モニター寄贈

小学校でもパソコンを使った授業がたくさんありますが、これまでパソコン用のモニターが一台しかなく、「取り合い」になっている状況にありました。これからの子供達はパソコンを使えこなせるのがとても大切になります。

授業で使ってもらうために、モニター（55インチ）を一台寄贈しました。



小学校に寄贈したモニター(テレビ)

## ■「豊和でホタルを愛でる会」 に協賛

大寺地区にある谷津田には、都会からたくさんの方が「週末農業」に通っています。そこから、豊和の素晴らしさに惹かれて移住してきた人も何人もいます。

SOSAプロジェクトや移住した人たちが中心になって蛍を観る会が続けられてきましたが、そこには都会から大勢の人が足を運んでいます。20名近い地元の方も参加、移住者や都会の人との交流に花を咲かせました。田圃には蛍がたくさん飛び交っていて、参加した地元の人もびっくり！

都会と豊和が繋がり、移住者と地域の人々が交じり合う中から新しい豊和が見えてくると思います。

**「村づくり基金」はみんなのものです。こんなことを考えている方、協議会メンバーや事務局にご相談ください。**

メール：thubaki@chiba.email.ne.jp

## 開畑の不法投棄されたゴミの処理に一役

以前



現在



開畑の「天屋敷」跡。これまで地元からは「何とかならないか」という声がありましたが、放置されつづけてきました。

昨年、ソーラーシェアリングから地域に出されたお金（200万円）を使って、環境保全会やみなさんのご協力も頂き、ゴミの撤去や草刈り等を行ってきました。今年も、「村づくり」基金から50万円程を出すことにしています。

まだ完全には撤去、解決したとはなっていませんが、大分綺麗になっています。今年は、道路際に向日葵を蒔きました。綺麗に咲くと良いですね！引き続きご協力をお願いします。

## 「村づくり基金」 協力者紹介

### ＜匝瑳ソーラーシェアリング合同会社＞

代表：椿茂雄



農業を支援し耕作放棄地を減らし地域環境を守りたい。地域に寄り添い一緒に歩みたい。私たちが事業を始めた思いです。それを実現するために、設備下で営農する耕作者と地域に200万円を出させて頂いています。この設備で発電される電気は標準世帯約280戸分。飯塚の全ての電気を賄っている計算になります。クリーンな電気で豊和を満たしたい。それが、私たちのもう一つの思いです。野山を切り崩すのではなく、畑や環境と一緒に歩いていく「ソーラーシェアリング」を進めていきます。

基金にご協力頂いている事業者さんを紹介していきます。匝瑳ソーラーシェアリングさんからは200万円、その他からは、一設備6~4万円を頂いています。(毎年、20年間)

### ＜市民エネルギーちば合同会社＞

共同代表：東光弘／椿茂雄



地元飯塚で2014年に生まれた会社です。「ソーラーシェアリングで農業・エネルギー問題・地域興しを元気に解決！」をテーマに地元の皆さんと一歩一歩、着実に進めていきます。100%出資の子会社の匝瑳ソーラーシェアリング合同会社はじめ、趣旨に賛同する他社とも連携し、耕作放棄地等を中心に景観にも配慮しながら設備を増やし、再生可能エネルギー100%の地域と地域循環型の経済をめざしていきます。

### ＜千葉エコ・エネルギー株式会社＞

代表：馬上丈司



「自然をエネルギーにエネルギーを未来に」をミッションに掲げ、地域に根ざした自然エネルギー創生と研究・開発、また、自然エネルギー利用による持続可能な農業の実現を目指しています。匝瑳飯塚地区ではソーラーシェアリング開発当初からお手伝いさせていただき、今後はソーラーシェアリングをきっかけとした地域活性、農地再生、人材育成のための地域づくりを地元の皆さんと一緒に考えていきます。

### ＜株式会社イージーパワー＞

代表：竹村英明



座して待っているのは、なかなか道が遠いかも知れません。それならば、自ら道を切り開こう・・・と生まれたのが、「イージーパワー」です。

代表の竹村は全国の市民発電所のネットワーク団体『市民電力連絡会』の代表も兼ねており、環境と人に調和した自然エネルギーの普及に日々取り組んでいます。

豊和での自然エネルギーと農業の融合による地域おこしに私たちも末永く参加させていただきます。